

令和3年
火災・救急統計



糸島市消防本部

はじめに

この統計は、糸島市消防本部管内における、令和3年中の火災・救急・救助等に関し、今後の消防行政上の資料とするため作成したものです。

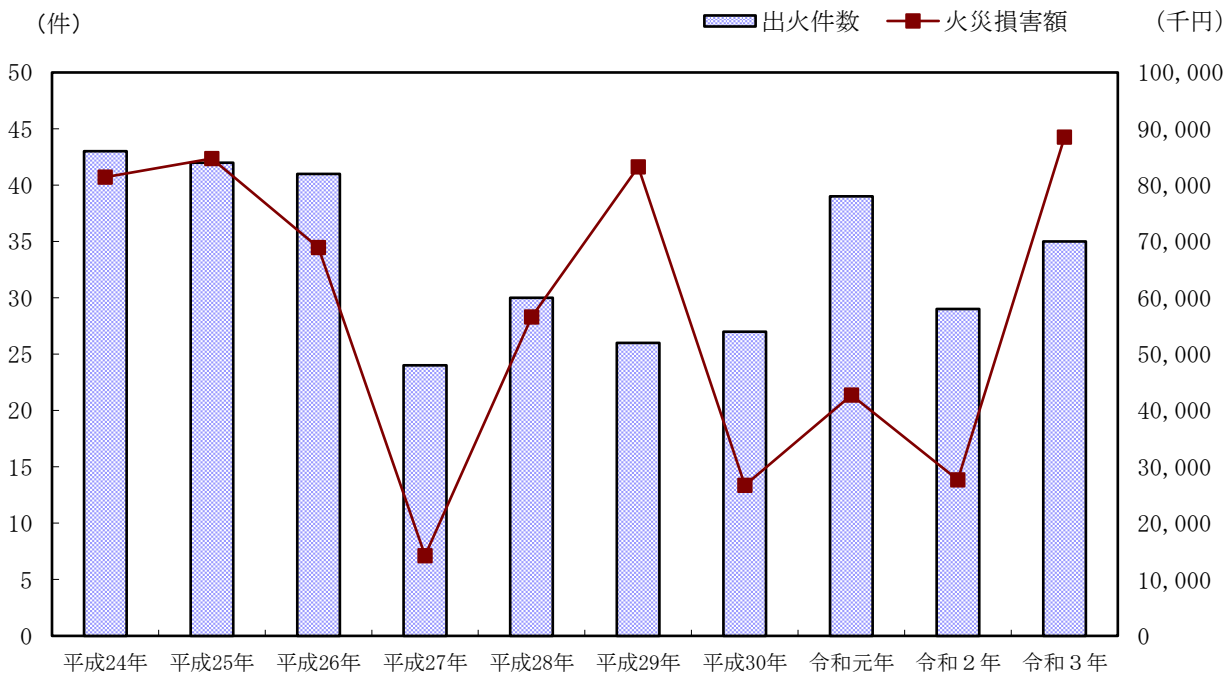
火 災 編

1 火災の推移

令和3年中の出火件数は35件、火災損害額は88,499千円で前年に比べ出火件数は6件増加し、火災損害額は60,802千円増加している。

最近10年間の平均出火件数は約34件、平均火災損害額は約57,485千円である。

最近10年間の出火件数と損害額の推移



年中 区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	10年間平均
出火件数	43	42	41	24	30	26	27	39	29	35	34
火災損害額 (千円)	81,424	84,727	68,928	14,257	56,603	83,230	26,751	42,732	27,697	88,499	57,485

(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

2 火災の状況

令和3年中の出火件数35件は、およそ10日に1件の割合で火災が発生したことになる。

令和3年中の火災による死者は3人で前年に比べ2人増加、また、負傷者は3人で前年に比べ2人増加している。

概況表

区分		年中	令和3年	令和2年	比較
出火件数	建物		16	16	0
	林野		3	3	0
	車両		7	5	2
	船舶		0	0	0
	その他		9	5	4
	計		35	29	6
損害額 (千円)	建物		87,046	26,804	60,242
	林野		0	0	0
	車両		1,107	776	331
	船舶		0	0	0
	その他		297	117	180
	爆発		49	0	49
	計		88,499	27,697	60,802
焼損面積等 (注1)	建物	床面積 (㎡)	1,324	864	460
		表面積 (㎡)	300	144	156
	林野 (a)	7	7	0	
	車両 (台)	10	5	5	
	船舶 (隻)	0	0	0	
焼損棟数 (棟)			38	23	15
り災世帯数 (世帯)			27	10	17
り災人員 (人)			73	28	45
死者数 (人)			3	1	2
負傷者数 (人)			3	1	2
1日平均発生件数 (注2)			0.10	0.08	0.02
1日平均損害額 (千円)			242	76	166
1件当たり損害額 (千円)			2,529	955	1,574
1人当たり損害額 (円)			858	270	588
出火率 (件/人口1万人)			3.4	2.8	0.6

(注) 1. 焼損表面積とは、建物の焼損が部分的である場合をいう。(立体的に焼損が及ばなかった場合)

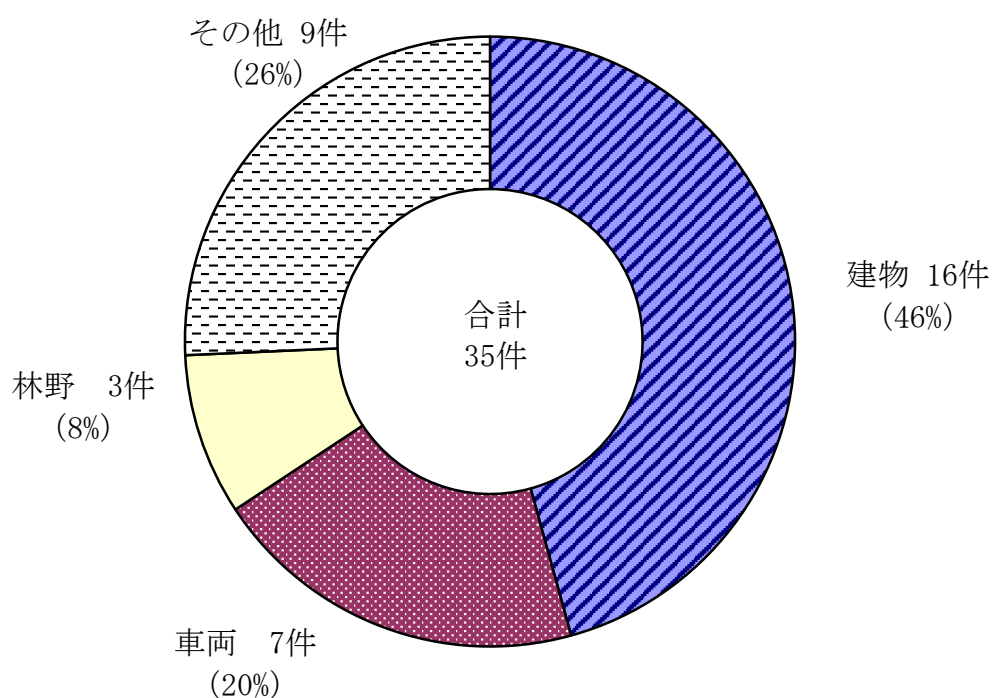
2. 1日平均発生件数は小数点第3位を四捨五入している。

(参考)管内の人口は103,177人(令和3年12月末現在)

3 出火件数

令和3年中の火災種別による出火件数は、建物火災が16件で、全体の約46%を占め、次いでその他の火災、車両火災の順となっている。

火災種別出火件数



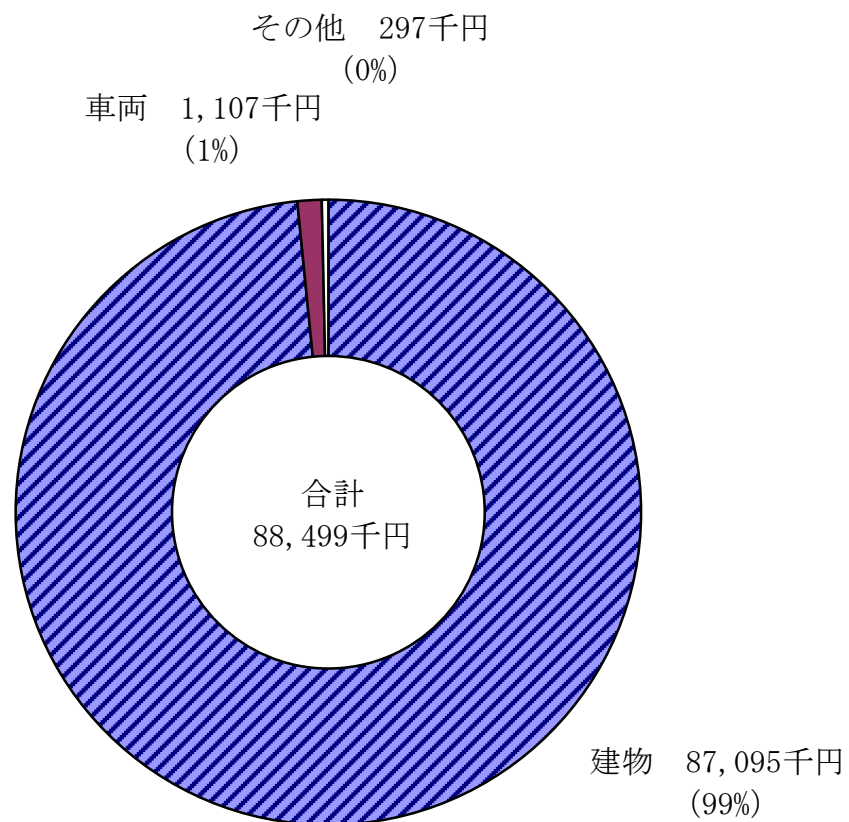
- (注) 1. その他の火災とは、建物火災、林野火災、車両火災、船舶火災及び航空機火災以外の火災（空地、田畑、道路、河川敷、ごみ集積場、屋外物品集積場、軌道敷電柱類等の火災）をいう。
2. 小数点以下を四捨五入している。（合計を100%とするため、林野の8.5%は小数点以下を切り捨てて8%としている。）

4 損害額

令和3年中の火災損害額は88,499千円で、前年に比べ60,802千円増加している。

損害額を火災種別でみると、下図に示すとおりである。

火災種別損害額



- (注) 1. 小数点以下を四捨五入しているため、火災種別のその他0.2%は表示上0%となる。
2. 合計を100%とするため、建物の98.4%は小数点以下を切り上げて99%としている。
3. 「爆発」による損害額については、損害額の「建物」に計上している。

資料1 月別の火災状況

区分 月別	出火件数						焼損棟数					り災程度				死傷者数		焼損面積等					
	合計	建物	林野	車両	船舶	その他	合計	全焼	半焼	部分焼	ぼや	合計	全損	半損	小損	り災人員	死者	負傷者	建物 (㎡)	林野 (a)	車両 (台)	船舶 (隻)	
1月	7	4		2		1	6	2	1	1	2	6	2	1	3	19	1		320			2	
2月	3	2				1	2	1		1									47				
3月	1	1					6	2	1	1	2	3	1	1	1	5			345				
4月	5	2	1	1		1	5	2		1	2	3	1		2	8	2		58	1		1	
5月	2	1		1			2	1			1							1	54			3	
6月	1		1														1			5			
7月	3			1		2																1	
8月	2			1		1																1	
9月	1					1																	
10月	5	3	1	1			14	3	1	6	4	13	4	1	8	37			427	1		2	
11月	3	1				2	1	1				1	1			2			73				
12月	2	2					2			2		1			1	2		1					
合計	35	16	3	7		9	38	12	3	12	11	27	9	3	15	73	3	3	1,324	7		10	

資料2 月別の火災損害額

区分 月別	損害額 (千円)										
	合計	建 物			林野	車両	船舶	その他	爆発		
		小計	建 物	収容物							
1月	25,616	25,353	18,772	6,581		195		68			
2月	1,618	1,578	1,432	146				40			
3月	11,886	11,881	9,645	2,236				5			
4月	4,560	4,505	3,823	682		55					
5月	5,142	4,752	4,286	466		390					
6月											
7月	367					324		43			
8月	260					120		140			
9月											
10月	34,228	34,205	26,977	7,228		23					
11月	4,613	4,612	4,449	163				1			
12月	209	160	39	121						49	
合計	88,499	87,046	69,423	17,623		1,107		297		49	

資料3 月別原因別の出火件数

区分	月別												合計
	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	
こんろ		1											1
たき火	1			2					1	1	2	1	8
放火	1			1									2
放火の疑い													
たばこ							1	1					2
風呂かまど													
焼却炉													
煙突・煙道													
電気機器													
電灯・電話等の配線													
配線器具				1									1
火あそび													
マッチ・ライター													
溶接機・切断機		1											1
火入れ					1	1							2
かまど													
炉													
ストーブ												1	1
こたつ													
ボイラー													
排気管										1			1
電気装置													
内燃機関													
灯火													
衝突の火花													
取灰													
その他	1			1	1		1	1					5
不明	2	1					1						4
調査中	2		1							3	1		7
合計	7	3	1	5	2	1	3	2	1	5	3	2	35

資料4 校区別の出火件数

校区別 \ 火災種別	建 物	林 野	車 両	船 舶	そ の 他	合 計
波 多 江	2		2		1	5
東 風			1			1
前 原	2				2	4
前 原 南						
南 風			1			1
加 布 里	1				1	2
長 糸						
雷 山	2		1		2	5
怡 土	3	2	1		1	7
一 貴 山	1					1
深 江	1					1
福 吉						
可 也			1		1	2
桜 野	1	1				2
引 津	3				1	4
合 計	16	3	7		9	35

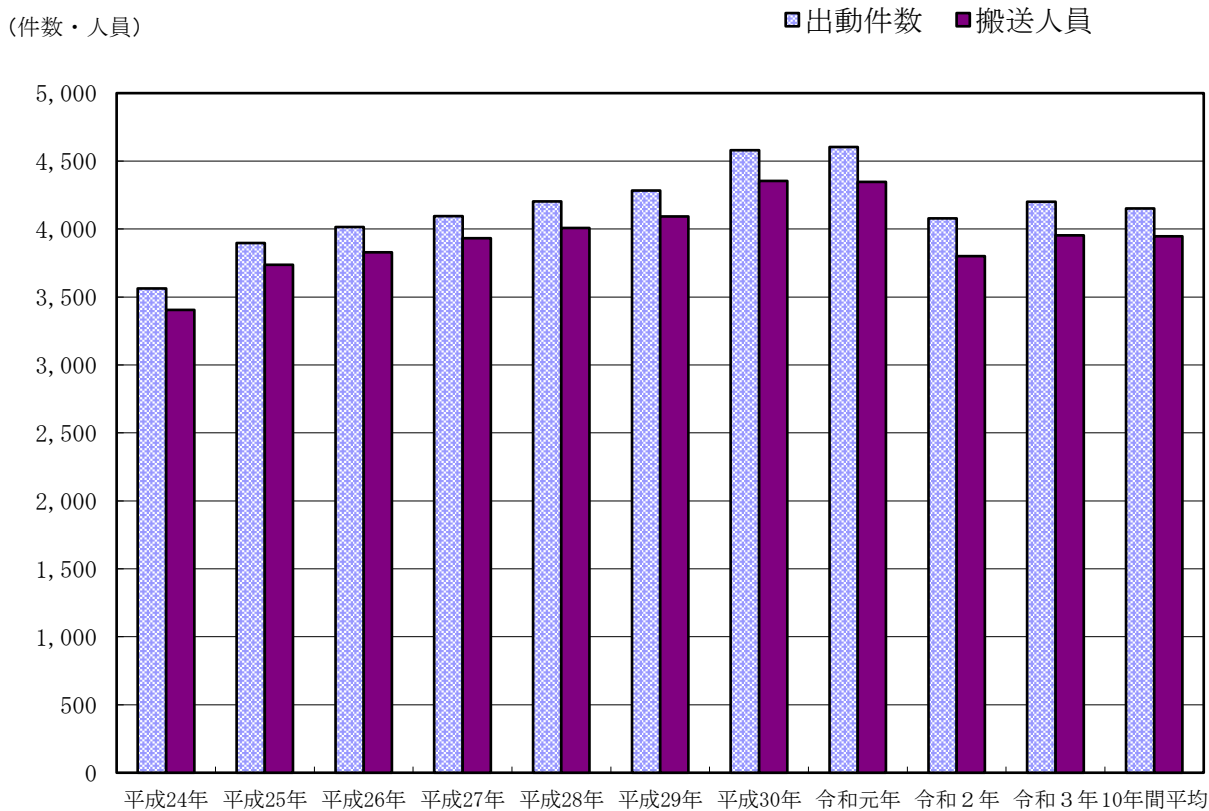
救急・救助編

1 救急出動件数の推移

令和3年中の救急出動件数は4,202件、搬送人員は3,954人で前年に比べ出動件数は124件増加、搬送人員は154人増加している。

最近10年間の平均出動件数は約4,152件、平均搬送人員は約3,946人である。

最近10年間の救急出動件数及び搬送人員の推移



年中 区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	10年間平均
出動件数	3,564	3,898	4,015	4,094	4,203	4,283	4,580	4,604	4,078	4,202	4,152
搬送人員	3,405	3,737	3,830	3,932	4,007	4,092	4,354	4,348	3,800	3,954	3,946

(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

2 救急出動の状況

令和3年中の救急出動件数4,202件は、1日平均約12件出動したことになる。また、令和3年中の搬送人員3,954人は、住民の約26人に1人が搬送されたことになる。

概況表

区分		年中	令和3年	令和2年	比較	
出動件数	急病		2,474	2,313	161	
	交通		300	295	5	
	一般負傷		734	713	21	
	自損行為		26	31	△5	
	労働災害		23	30	△7	
	加害		13	5	8	
	運動競技		19	19	0	
	火災		12	10	2	
	水難		5	7	△2	
	自然災害		0	0	0	
	その他	管内転院搬送(注1)		65	81	△16
		管外転院搬送(注1)		514	547	△33
		医師搬送		0	0	0
		その他		17	27	△10
計			4,202	4,078	124	
1日平均(注2)			11.5	11.1	0.4	
不搬送			280	314	△34	
搬送人員	性別	男	2,029	1,933	96	
		女	1,925	1,867	58	
	計			3,954	3,800	154
	程別	死亡(注3)		5	6	△1
		重症(注4)		359	385	△26
		中等症(注5)		2,251	2,166	85
		軽症(注6)		1,338	1,242	96
		その他(注7)		1	1	0
	計			3,954	3,800	154
	1日平均(注2)			10.8	10.4	0.4

(注) 1. 転院搬送とは、医療機関に収容されている傷病者を他の医療機関に搬送することをいう。(管内とは糸島市内、管外とは糸島市外への搬送をいう。)

2. 1日平均発生件数は小数点第2位を四捨五入している。

3. 死亡とは、初診時において死亡が確認されたものをいう。

4. 重症とは、傷病程度が3週間以上の入院加療を必要とするものをいう。

5. 中等症とは、傷病程度が重症又は軽症以外のものをいう。

6. 軽症とは、傷病程度が入院加療を必要としないものをいう。

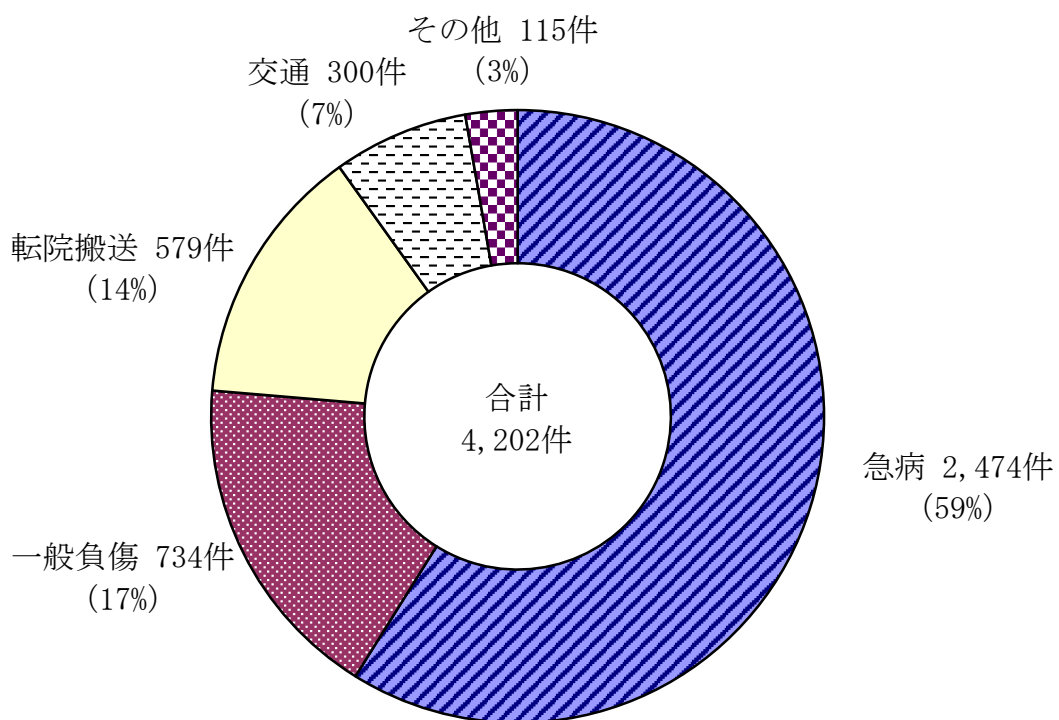
7. その他とは、医師の診断がないもの及び傷病程度が判明しないものをいう。

(参考) 管内の人口は103,177人(令和3年12月末現在)

3 事故種別の救急出動件数

事故種別による救急出動件数は、急病によるものが全体の約59%で半数以上を占め、次いで一般負傷、転院搬送の順である。

事故種別の救急出動件数

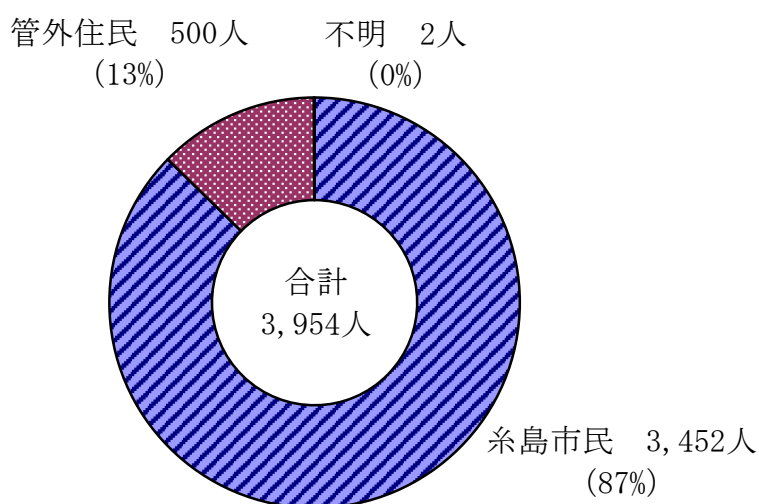


(注) 小数点以下を四捨五入している。

4 住所・傷病程度・年齢別の搬送人員

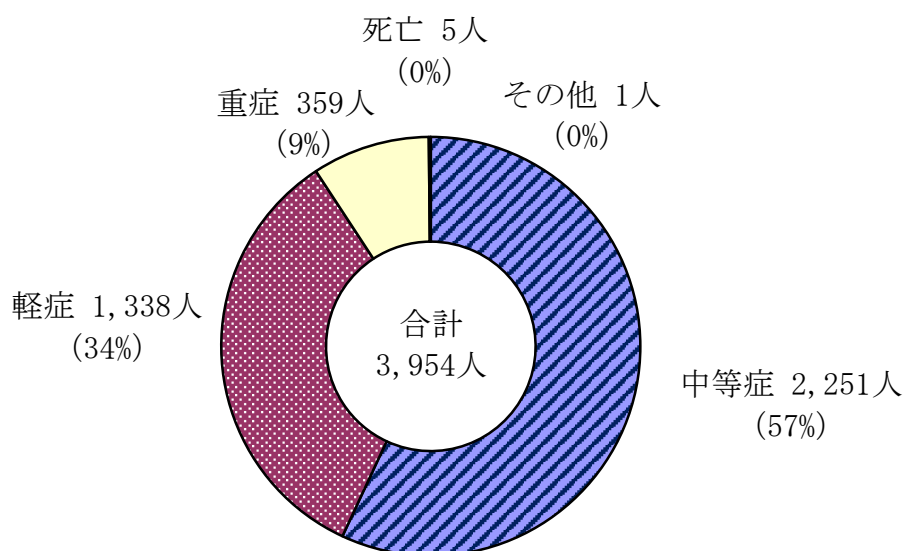
令和3年中の救急搬送人員を住所別にみると、糸島市民が3,452人で大多数を占め、管外住民が500人である。また、傷病程度別にみると、重症と中等症の合計が全体の約66%で、軽症が約34%である。さらに年齢別でみると、65歳以上が全体の約64%を占めている。

図1 住所別の搬送人員



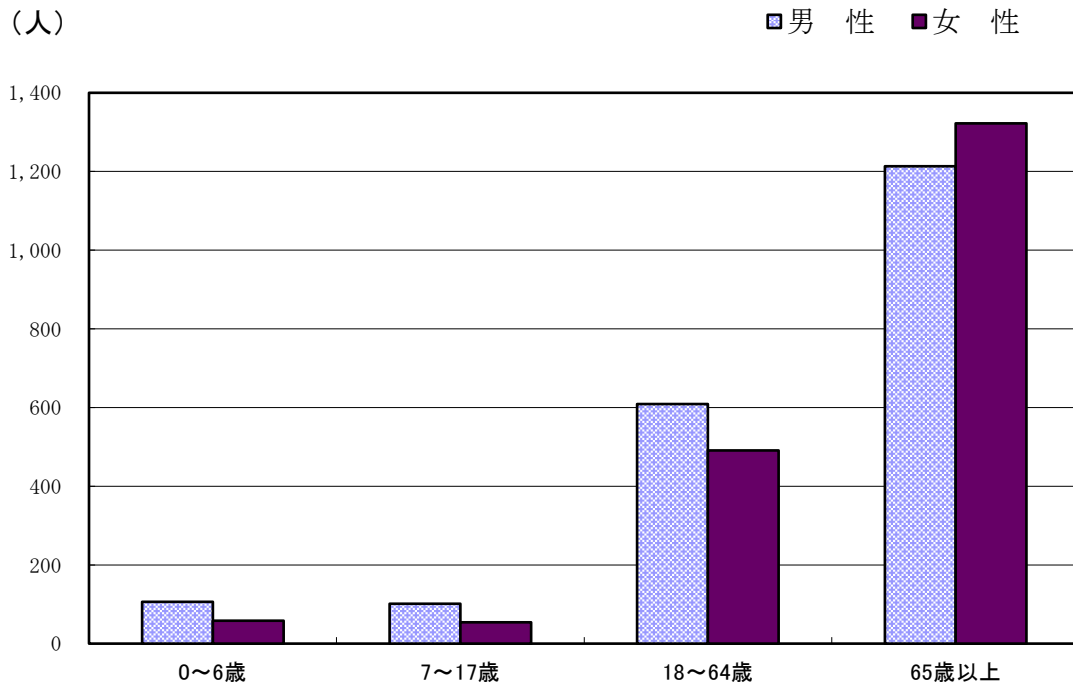
(注) 小数点以下を四捨五入しているため、不明の0.05%は表示上0%となる。

図2 傷病程度別の搬送人員



(注) 小数点以下を四捨五入しているため、傷病程度のその他0.02%、死亡0.12%は表示上0%となる。

図3 年齢別の搬送人員



年齢 性別	0~6歳	7~17歳	18~64歳	65歳以上	計
男性	106	101	609	1,213	2,029
女性	58	54	491	1,322	1,925
計 (人)	164	155	1,100	2,535	3,954
比率 (%)	4	4	28	64	

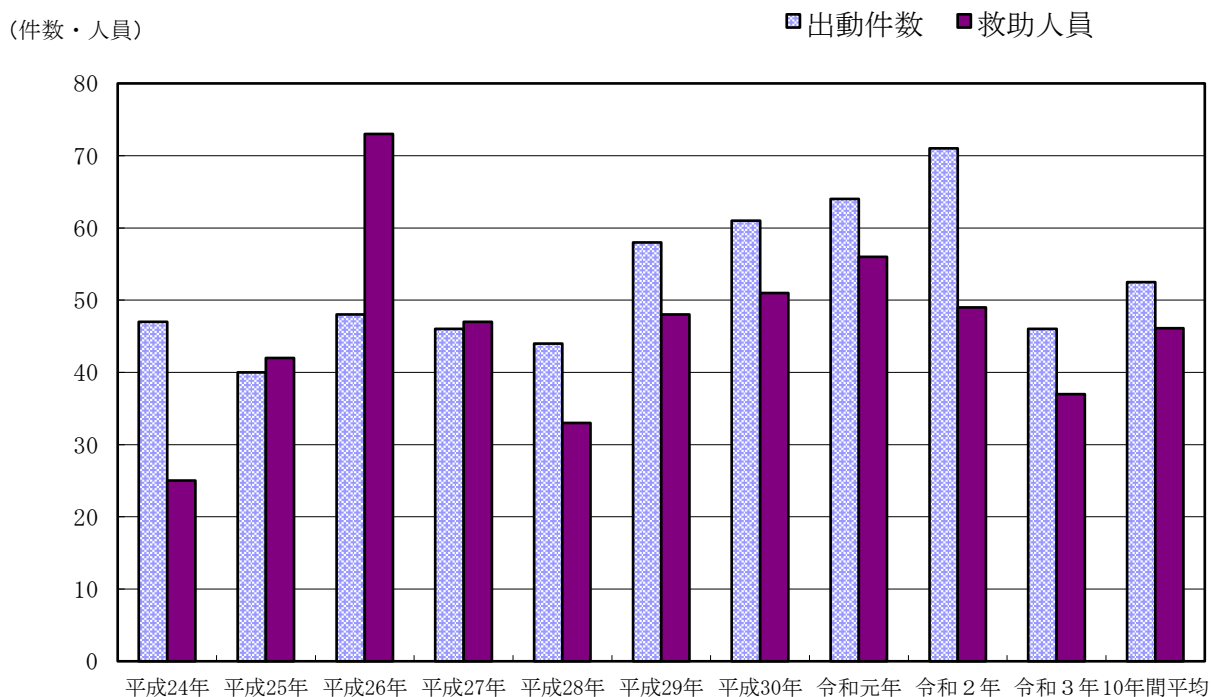
(注) 端数にあつては、小数点以下を四捨五入している。

5 救助出動件数の推移

令和3年中の救助出動件数は46件、救助人員は37人で、前年に比べ出動件数は25件減少、救助人員は12人減少している。

最近10年間の平均出動件数は約53件、平均救助人員は約46人である。

最近10年間の救助出動件数及び救助人員の推移

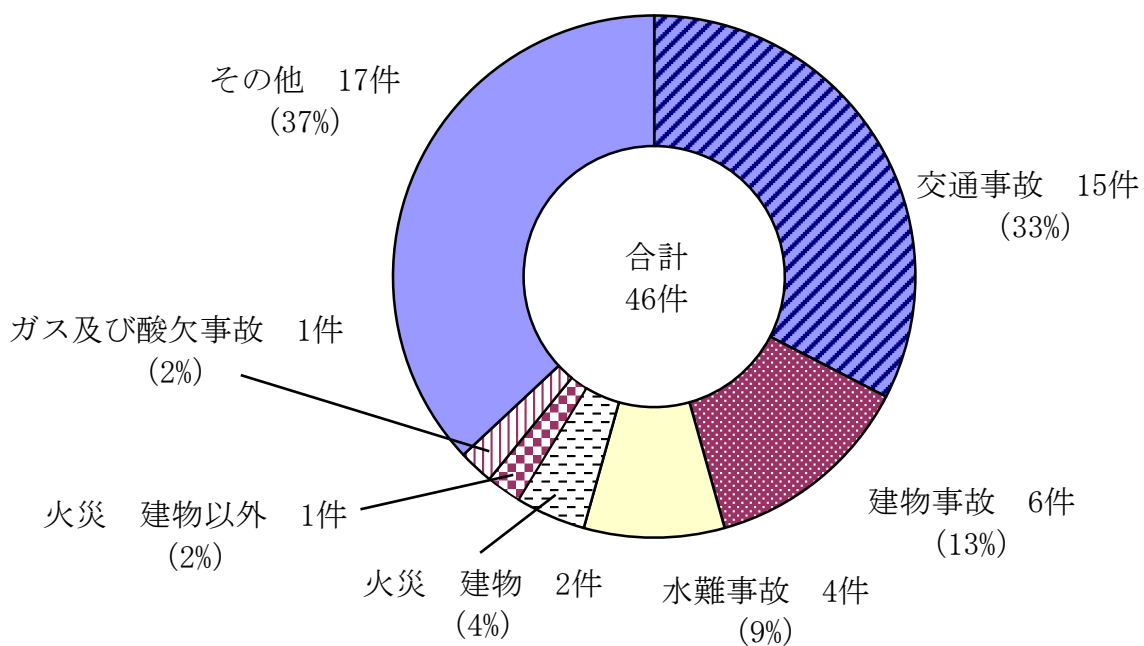


年中 区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	10年間平均
出動件数	47	40	48	46	44	58	61	64	71	46	53
救助人員	25	42	73	47	33	48	51	56	49	37	46

(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

6 事故種別の救助出動件数

事故種別による救助出動件数は、交通事故によるものが全体の約33%を占め、次いで建物事故、水難事故の順である。



- (注) 1. 建物事故とは、建物、門、柵、塀等の建物に付帯する施設又はこれらに類する工作物の倒壊による事故、建物等内に閉じ込められる事故、建物等に挟まれる事故等をいう。
2. その他とは、上記事故種別以外の事故で、消防署による救助を必要としたものをいう。(山岳事故、墜落・転落事故等)
3. 小数点以下を四捨五入している。

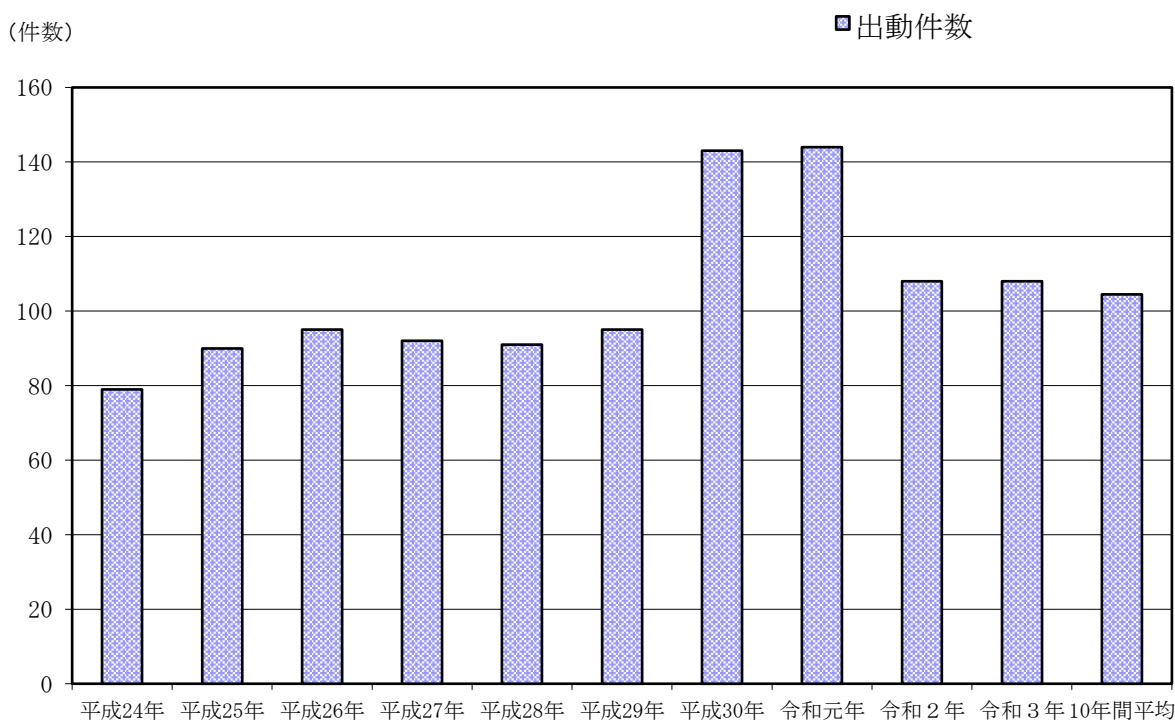
警 戒 編

1 警戒出動件数の推移

令和3年中の警戒出動件数は108件で、前年と同件数であり、最近10年間の平均出動件数は約105件である。

出動件数を原因別にみると、火災と紛らわしい行為等によるものが全体の約29%を占めており、次いで自動火災報知設備の非火災報、へり搬送支援の順である。

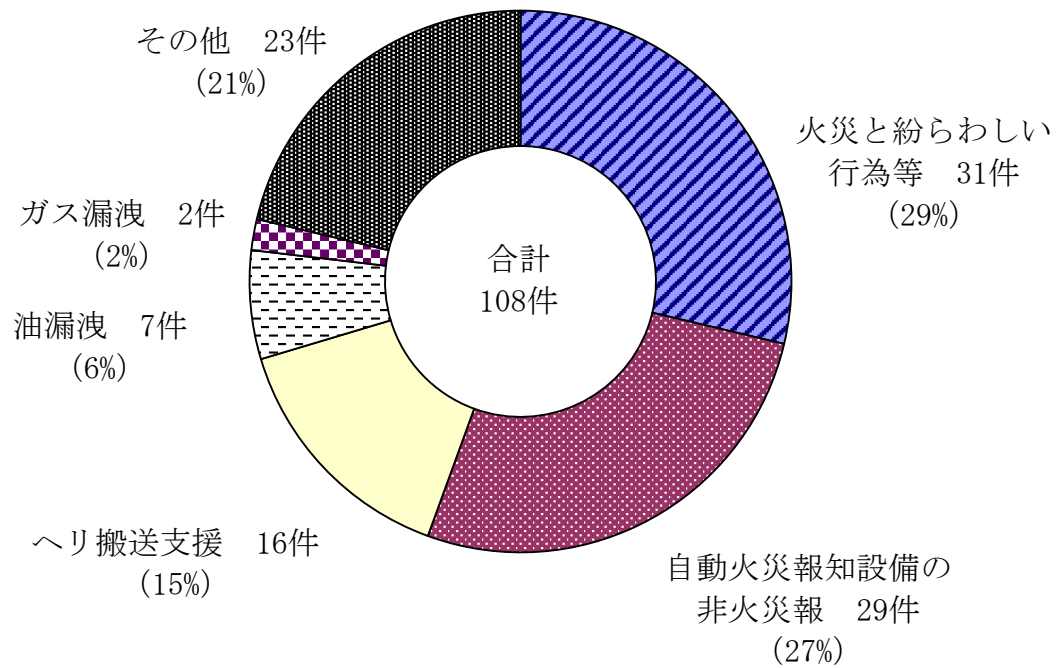
最近10年間の警戒出動件数の推移



年中 区分	平成24年	平成25年	平成26年	平成27年	平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年	令和3年	10年間平均
出動件数	79	90	95	92	91	95	143	144	108	108	105

(注) 10年間平均は小数点以下を四捨五入している。

2 原因別の出動件数



- (注) 1. ヘリ搬送支援とは、ヘリコプターで傷病者の搬送を依頼する場合にヘリコプター臨時離着陸場の安全を確保するため、消防隊が出動したものをいう。
2. 小数点以下を四捨五入している。